

深伊沢小学校便り

救急講習，大縄大会



先週の土曜日6月4日午前に、本年度PTA研修部と体育厚生部の共催で、「救急講習&大縄大会」を開催していただきました。久しぶりに行うPTA行事となりました。保護者，子どもたちを合わせ34名の方々が参加していただきました。救急講習の講師として鈴鹿市消防団鈴峰分団の5名の方々をお招きし，これから暑い季節を迎えるにあたり，熱中症等で一緒にいた人が意識を失った場合などに1人で1人を搬送する方法，2人で1人を搬送する方法，呼吸がしやすくなる伏せ方などを教えていただき，参加された方々同士で練習も行いました。その後，伊船地区，長澤地区に分かれ，本校で冬場の体力づくりのために行っている大なわとびを連続で飛び続ける「8の字飛び」を行い，楽しい時間を過ごしました。今後の備えとなった有意義な講習会となりました。ありがとうございました。



食育



食育は「子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けること」と定義されています。人間の成長に望ましくない食生活や考え方を、大人になってから改めるのは難しいため、子どもたちから学ぶことが大切です。われわれの体は食事によってつくられており、生きていくためには不可欠なものです。そこで、加佐登小学校の栄養教諭である川崎先生に6月9日に来ていただき、5、6年生に食育の授業を行っていただきました。5年生は五大栄養素、6年生は朝食の大切さをテーマに授業を行っていただきました。今後、他学年の食育の授業も行っていく予定です。

来週、第1回家庭学習強化週間です

鈴峰中学校区の5校（深伊沢小学校、鈴峰中学校、庄内小学校、椿小学校、鈴西小学校）では、毎年、子どもたちの「学力の定着」を図るために、保護者の皆様にご協力いただきながら家庭学習強化週間の取組をすすめております。

本年度も、鈴峰中学校の定期テストの時期に合わせ、来週16日（木）から1週間、第1回目の取組を行います。今年度本校では、「聴くこと」を意識した学習活動に取り組んでおります。そこで、今年度はこの家庭学習強化週間に合わせ、ご家庭も子どもたちの「聴く」力を伸ばす大切な環境であると捉え、新たな取り組みとして「保護者音読」を加えていきたいと考えております。それは、普段子どもたちが取り組んでいる音読の読み手を保護者の皆様に行っていただくものです。いわゆる「読み聞かせ」を子どもたちの使っている教科書で行っていただくものです。

保護者の皆様の音読をしっかりと意識して「聴く」ことで、より聞き手を意識した表情豊かな音読を子どもたちが実践できることを期待しての取り組みです。勝手なお願いで申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします。詳細につきましては来週お配りする文書をご覧ください、取り組みへのご協力をお願いします。